



山王海のしおり

豊かな水を求めて



水土里ネット山王海

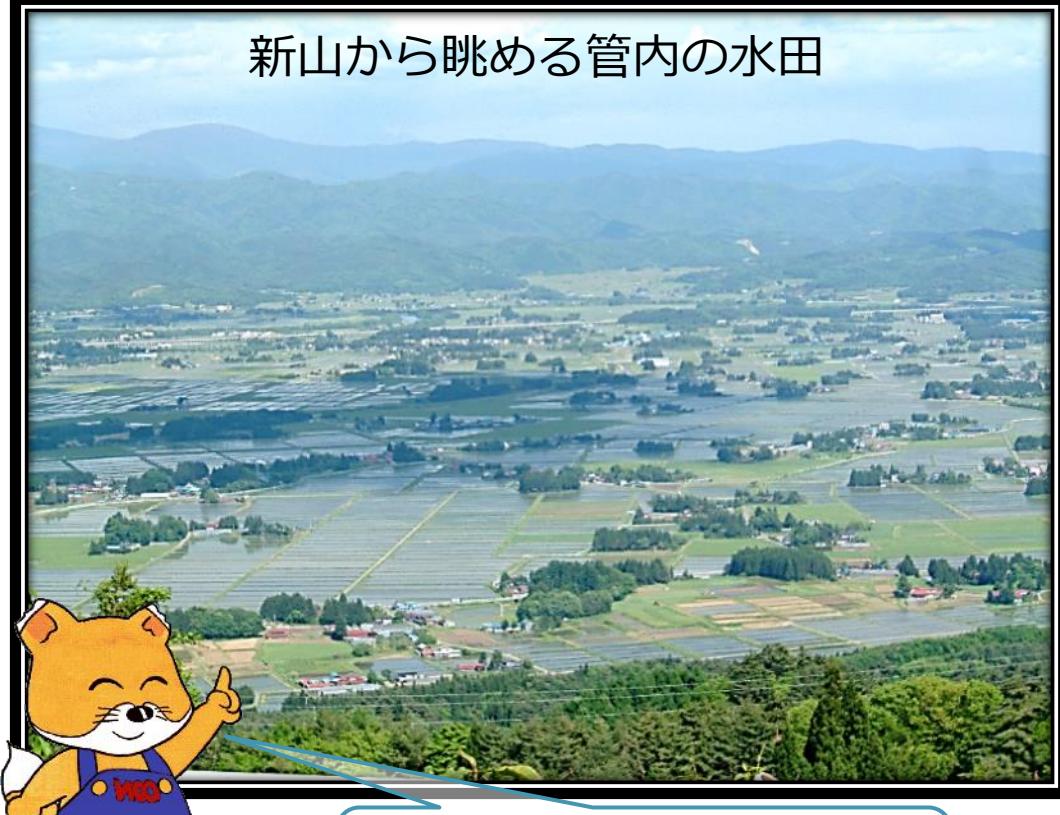
目 次

1. 地域の概要
2. あゆみ
3. 国営農業水利事業
4. 親子ダム
5. ダム諸元
6. 用水管理システム
7. 国営土地改良事業
8. 山王海土地改良区について
9. 事業の取組み

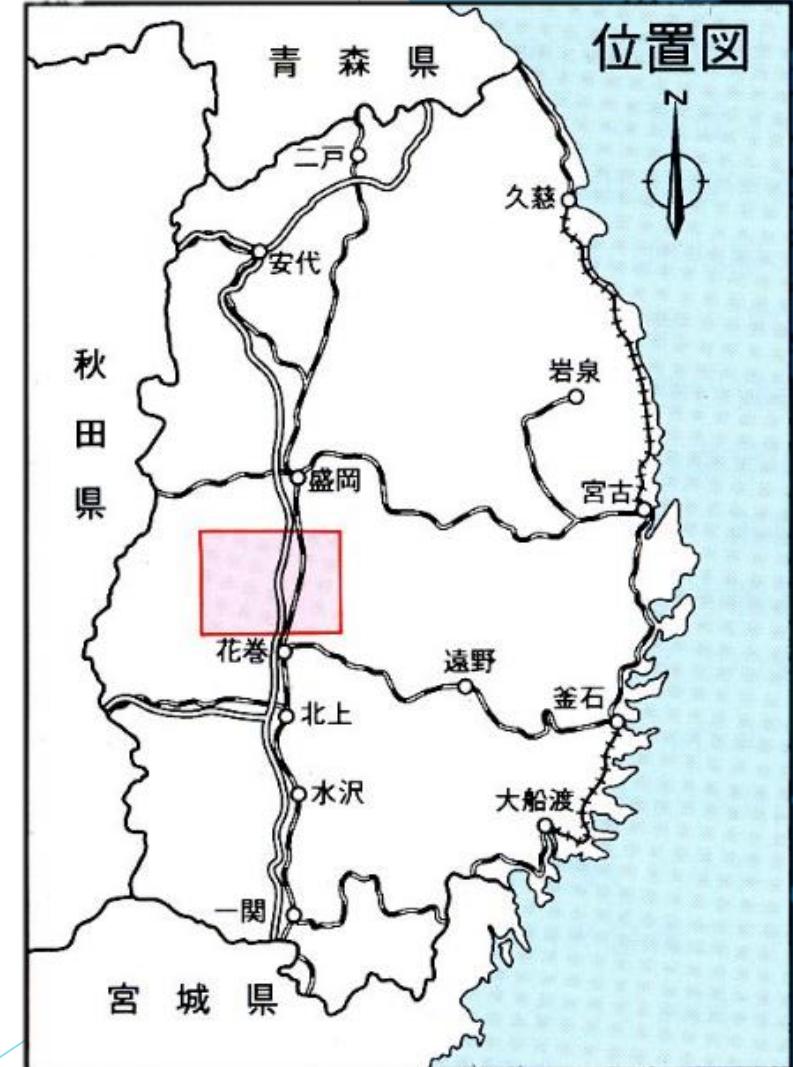
1. 地域の概要 (1 / 3)

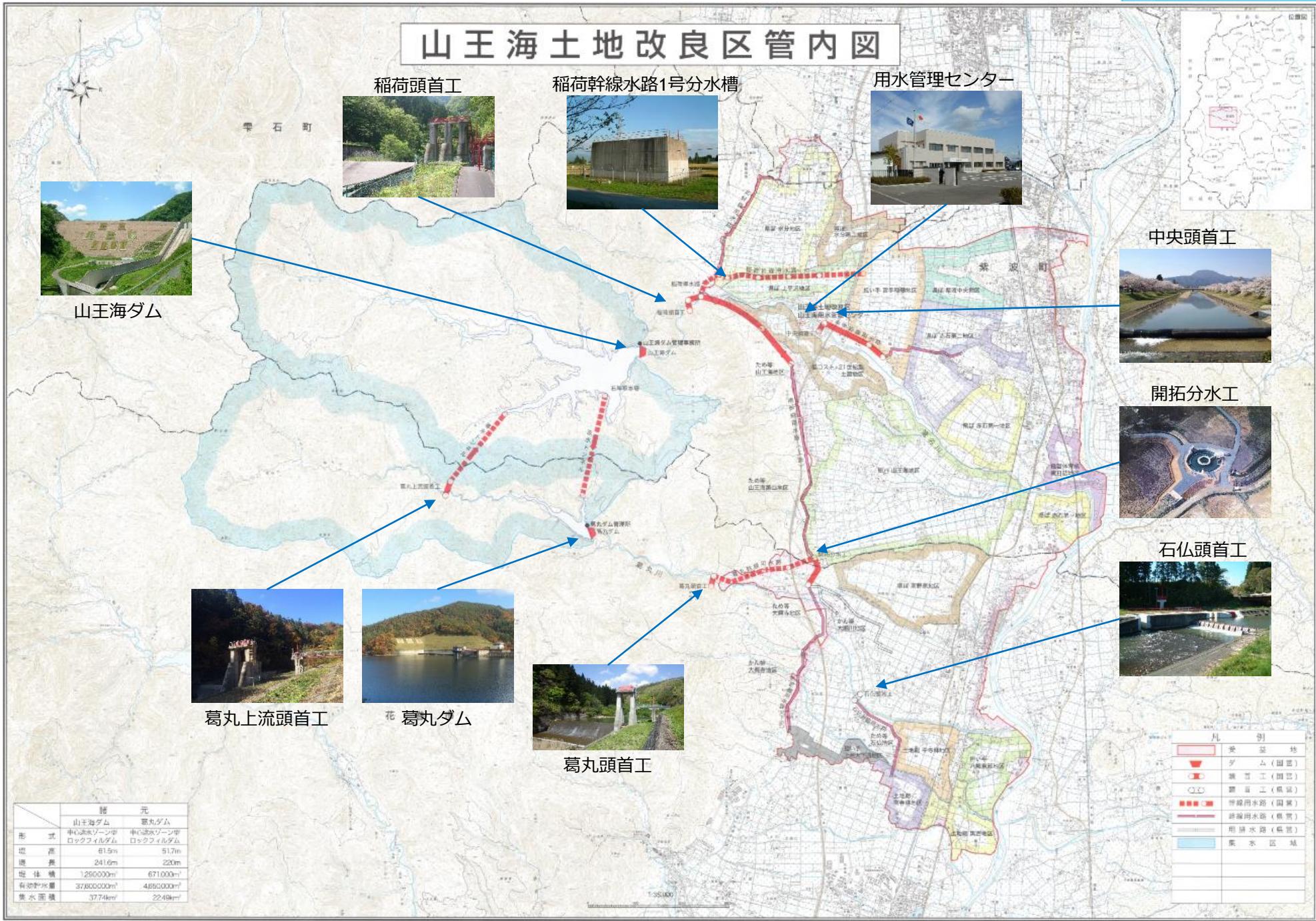
県下有数の穀倉地帯

- ・紫波町は日本有数の「もち米」生産地



関係市町：花巻市、紫波町、矢巾町
受益面積：3,790 ha





1. 地域の概要 (2/3)

水争いの歴史 1

- ・27ヶ所の堰により900haの水田が灌漑されていた。
- ・水源の流域面積が小さく水不足に悩まされていた。



1. 地域の概要 (3 / 3)

水争いの歴史 2

- 旱魃になると水を争い、死者が出るほどの「水げんか」が起きた。
- 滝名川では記録に残っているだけでも36回。
- 葛丸川でも同様に15回あったと云われている。



激しい水争いで耳が欠けた志和稻荷神社の前立て



“こんちゃん”



稻荷大口前（大旱魃のたびに水争のあったところ）

2. あゆみ

年 代	出 来 事
寛永 3年 (1626)	～昭和初期 36回の水争いがあった
寛文12年 (1672)	滝名川流域に27堰による開田面積約822ha
明治末期	毎年、記録的旱魃、凶作に見舞われる
大正15年 (1926)	「志和村旱魃善後策村民協議会」を結成し、国営事業による山王海ダム建設の陳情をする
昭和 4年 (1929)	農林省による本格的な測量調査が開始される －度重なる政変により事業計画が頓挫する－
昭和16年 (1941)	「志和用水改良期成同盟」が組織され、再度国営事業の陳情が始まる
昭和17年 (1942)	志和村、赤石村、水分村を地域とした、普通水利組合の認可申請がなされる
昭和18年 (1943)	「山王海普通水利組合」設立
昭和19年 (1944)	農地開発営団事業として、山王海ダム建設事業開始
昭和22年 (1947)	山王海ダム建設事業が、農林省山王海農業水利事業に切替わる
昭和23年 (1948)	山王海普通水利組合、赤石普通水利組合、甘木耕地整理組合、葛丸沿岸耕地整理組合による「山王海農業水利事業促進協議会」が結成される
昭和25年 (1950)	鹿妻穴堰普通水利組合地域内の370haを編入
昭和27年 (1952)	山王海普通水利組合長で、志和村長の藤尾太郎氏が申請人代表となり、土地改良区の設立認可申請 「山王海土地改良区」として設立認可 (7月2日 岩区第121号認可) 「旧山王海ダム」完成
昭和43年 (1968)	全土連表彰 銅賞受賞
昭和49年 (1974)	全土連表彰 銀賞受賞
昭和54年 (1979)	全土連表彰 金賞受賞 国営山王海土地改良事業計画決定
昭和60年 (1985)	鹿妻穴堰土地改良区との二重加入解消
平成 2年 (1990)	内閣総理大臣表彰（緑化推進）

年 代	出 来 事
平成 3年 (1991)	「葛丸ダム」完成
平成 4年 (1992)	国営山王海（一期）土地改良事業完了
平成 9年 (1997)	紫波町、石鳥谷町大規模山林火災において葛丸ダムより消火取水
平成12年 (2000)	山王海用水管理センター、新事務所庁舎落成
平成13年 (2001)	「新山王海ダム」完成
平成14年 (2002)	国営山王海（二期）土地改良事業完了
平成15年 (2003)	事務局体制変更（4課制から3課制） 冷害対策（賦課金納期限の延長）
平成16年 (2004)	山王海ダム満水溢流祝賀会挙行（初溢流） 管内初のアドプト協定締結（御堂、馬場堰） 冷害対策（賦課金単価減額200円/10a）
平成17年 (2005)	紫波町、石鳥谷町山林火災において葛丸ダムより消火取水 賦課システム導入
平成19年 (2007)	滞納賦課金検討会設立 会計システム導入
平成21年 (2009)	事務局体制変更（事務局長の新設、3課制から2課制）
平成23年 (2011)	東日本大震災により農用地施設に被害発生
平成25年 (2013)	県央豪雨災害により農用地施設に未曾有の被害発生
平成26年 (2014)	滝名川中央頭首工にサケの遡上がみられる
平成28年 (2016)	農林水産大臣表彰（全国土地改良功労者表彰） 山王海地区国営土地改良事業負担金償還完了
平成29年 (2017)	山王海地区国営土地改良事業促進協議会設立 石鳥谷西部地区基盤整備事業推進協議会設立 複式簿記会計システムを導入
平成31年 令和元年 (2019)	貸借対照表作成、公表 准組合員制度導入
令和2年 (2020)	北上川水系（北上川上流）治水協定締結（ダムの洪水防止機能）
令和3年 (2021)	「葛丸ダム」築造30周年を迎える 「新山王海ダム」完成から20周年を迎える
令和4年 (2022)	設立70周年を迎える

2. あゆみ

旧山王海ダムの建設 平 安

- 毎年の様に旱魃・凶作に見舞われたため、関係者の心をダム築造へと燃え上がらせることとなった。
- 昭和27年旧山王海ダムが完成。
- 「平安・山王海・1952」の植栽文字には永遠に水争いがなく平穏と思う気持ちが祈念されている。



田植えはしたものの、枯死状態の苗



旧山王海ダムの特徴

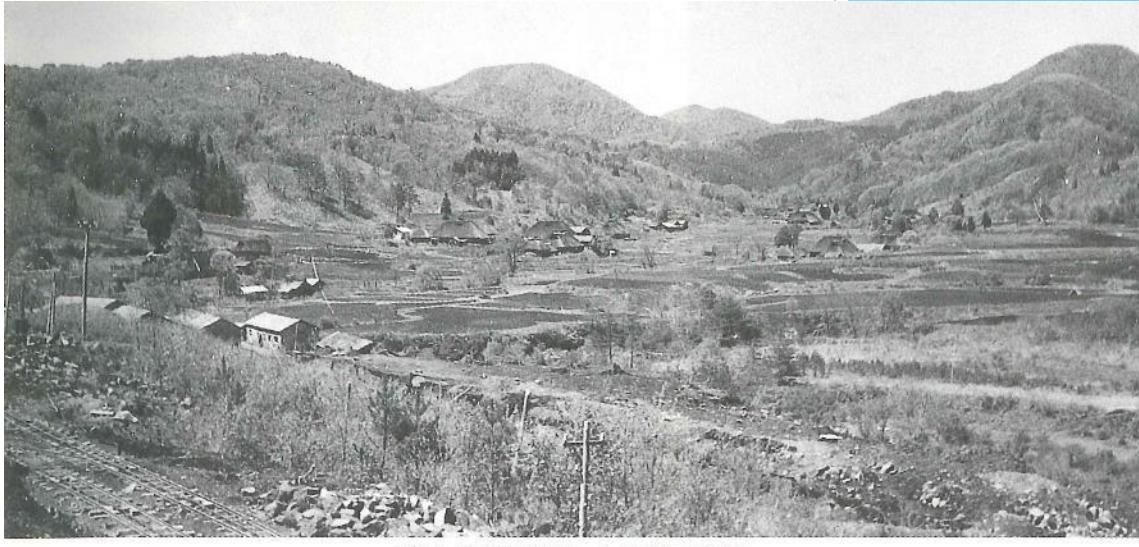
- ・日本のアースダムで初めて土質工学を取り入れた。
- ・東洋一の土堰堤ダム

諸　元	
型　式	輥圧式土堰堤
堤　高	37 m
堤　長	150 m
堤　体　積	275,700 m ³
総貯水量	9,594,000 m ³
集水面積	37.74 km ²



水没した部落

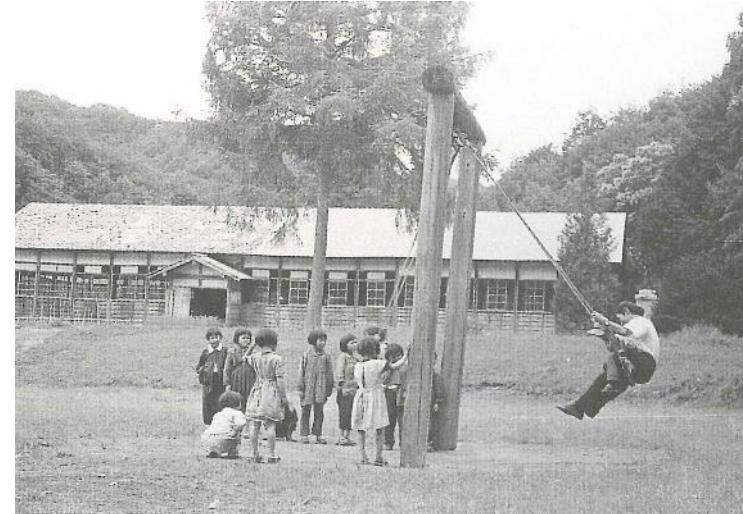
- ・ダム建設で最も困難な問題は、水没補償
- ・山王海部落の農民は当然のように反対
- ・移転を余儀なくされた人家は36戸
- ・解決策は、代替地補償（現物補償）であった。



ダム築造前の山王海部落



山王海部落



山王海分校と子ども達



3. 国営農業水利事業（1／2）

背景

- ・山王海ダムの完成は地域の農業を大きく発展させた。
- ・畠地から水田への転換、区画の大型化、機械の大型化等近代的農業を目指した開発計画が進む。
- ・結果、再び水不足が生じる。



南野原開田

大区画施行前



大区画施行後



3. 国営農業水利事業（1／2）

- 昭和53年度から国営農業水利事業が始まる。
- 葛丸川に「葛丸ダム」を新設
- 導水、取水トンネルを設置
- 旧山王海ダムの嵩上げ



4. 親子ダム

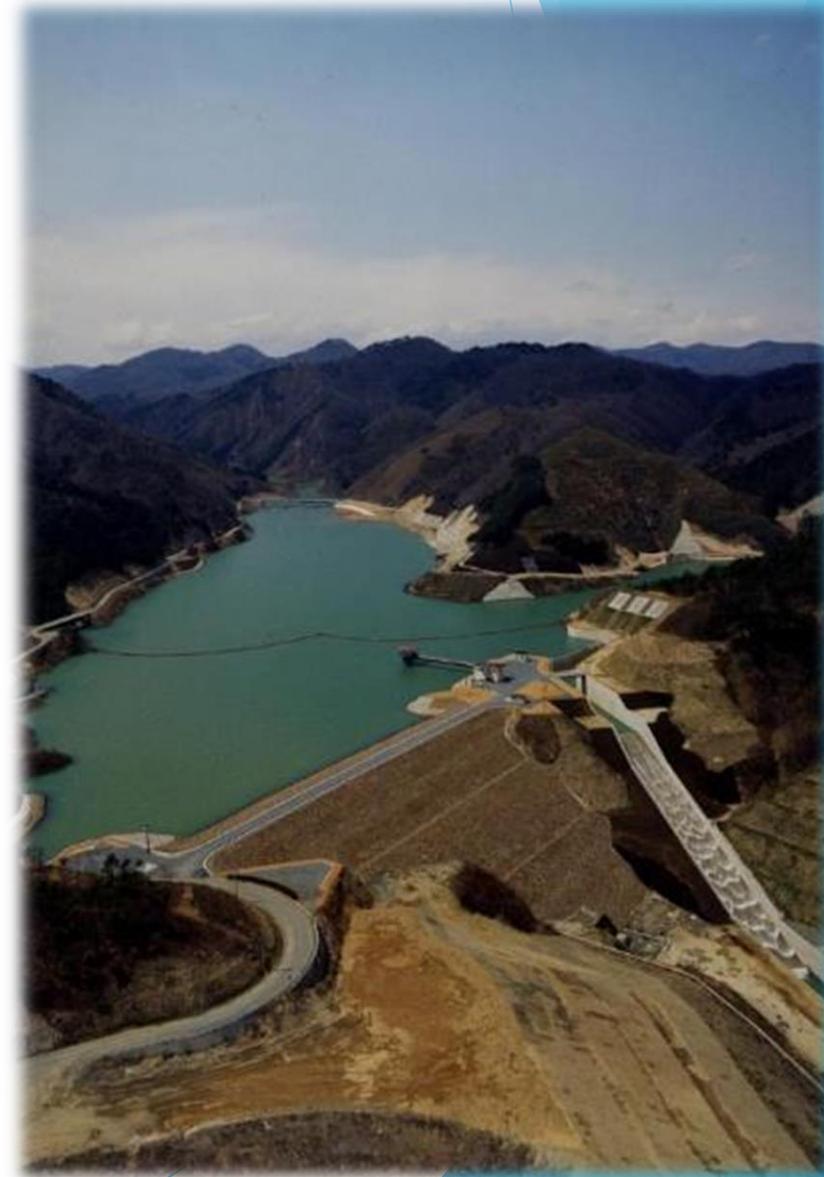
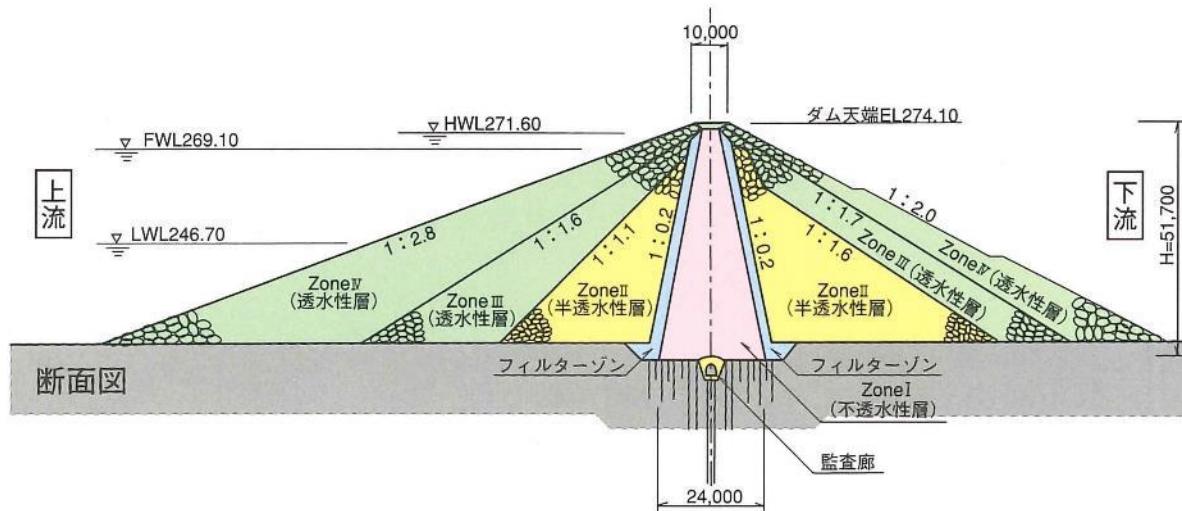
- 葛丸ダムの貯水容量は、地形上の制約から5,000千m³が限度なため、山王海ダムの貯水容量を拡大し、一時的に貯留する計画。
- 滝名川、葛丸川を2つのトンネルで接続し、両河川に造るダムを「親子ダム」化している。
- 冬期間に葛丸上流頭首工から導水トンネルを経て山王海ダムに一時的に貯留する。
- 夏場に山王海ダム右岸取水塔から取水トンネルを経て葛丸ダムに放流する。
- 限られた流域の水を最大限有効に活用する画期的な水源計画となっている。



5. ダム諸元

葛丸ダム

葛丸ダム諸元	
形 式	中心遮水ゾーン型 ロックフィルダム
堤 高	51.7 m
堤 長	220 m
堤体積	671,000 m ³
総貯水量	5,000,000 m ³
有効貯水量	4,650,000 m ³
集水面積	22.49 km ²

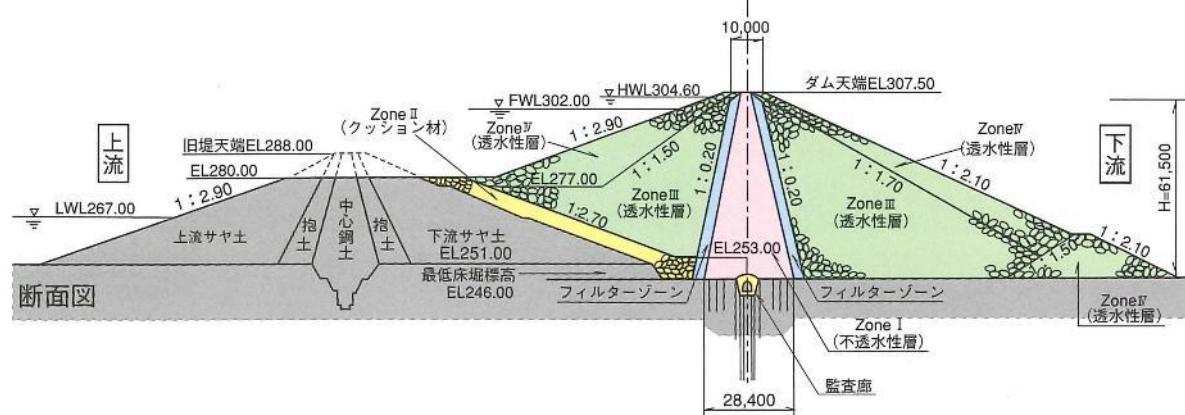


5. ダム諸元

山王海ダム

- ・旧山王海ダムの堤体の一部を取り込んで、世界にも他に例のない嵩上げ工法が特徴である。
- ・新しい山王海ダムにも「平安・山王海・2001」の文字が引き継がれた。

山王海ダム諸元	
形 式	中心遮水ゾーン型ロックフィルダム
堤 高	61.5 m
堤 長	241.6 m
堤体積	1,290,000 m ³
総貯水量	38,400,000 m ³
有効貯水量	37,600,000 m ³
集水面積	37.74 km ²

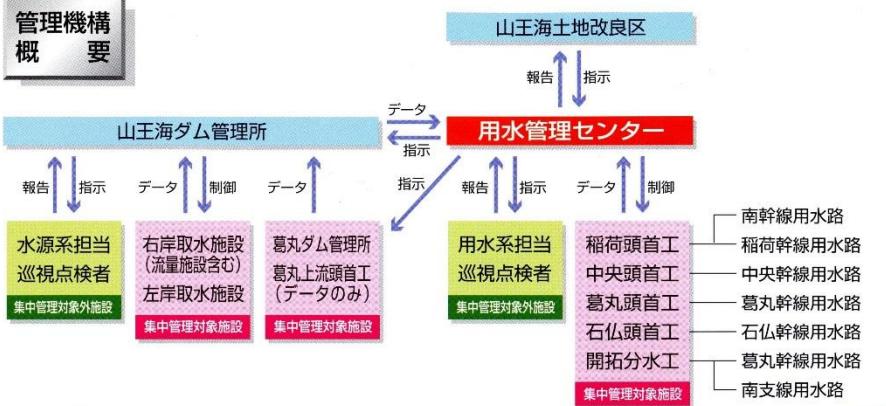


用水管理センターとは

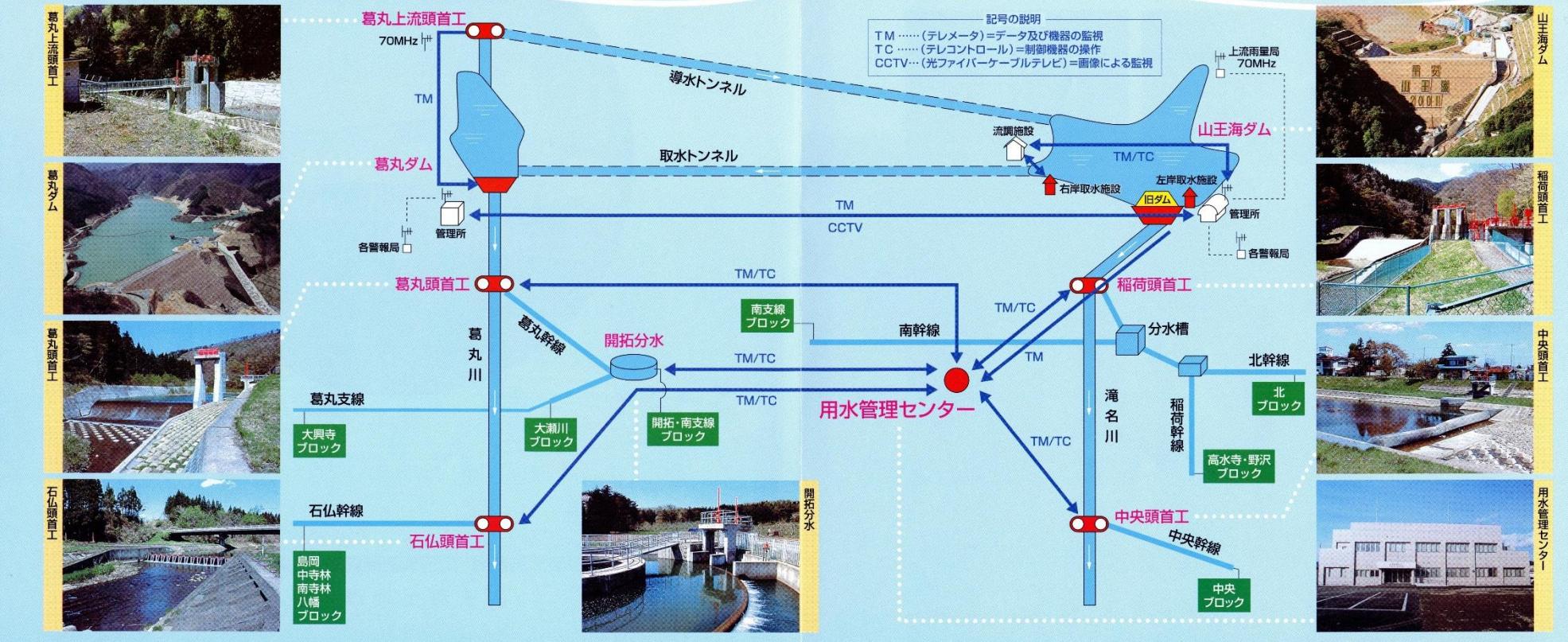
山王海用水管理センターは、国営山王海農業水利事業において造成・改修された各施設を監視し、制御、操作等を行う施設です。
詳細な情報を基に、受益面積3,890haへの用水を円滑かつ最大限有効に行うため、集中的に管理することを目的に、設置されました。
なお、これらの運営・管理は山王海土地改良区が行っています。

用水管理センターが管理する主要施設
 ●山王海ダム(葛丸ダムへの右岸取水施設含む)
 ●稻荷頭首工
 ●中央頭首工
 ●葛丸ダム(葛丸上流頭首工取水施設含む)
 ●葛丸頭首工
 ●石仏頭首工
 ●開拓分水工

管理機構概要



山王海地区の用水管理システム



7. 国営土地改良事業

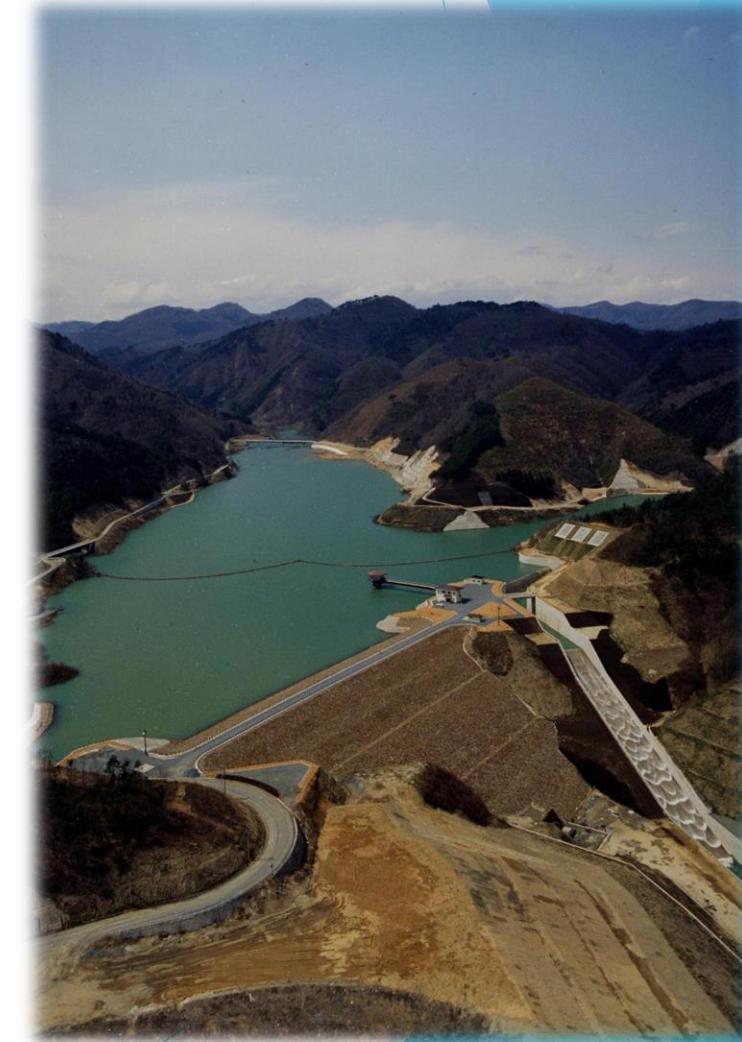
事業名	地区名	実施期間	事業量	事業費(千円)
国営農業水利事業	山王海	S21～S29	山王海ダム新設 頭首工 幹線水路	709,090
国営山王海(一期)農業水利事業	山王海	S53～H3	葛丸ダム新設 頭首工改修・新設 幹線水路改修・新設	29,286,542
国営山王海(二期)農業水利事業	山王海	H2～H13	山王海ダム改築	52,397,324

7. 国営土地改良事業 山王海(一期)農業水利事業 《S53～H3》

16

種別	事業費(千円)	主要工事
葛丸ダム	12,629,820	葛丸ダム 導水トンネル2.2km 頭首工4ヶ所
稻荷頭首工	10,696	
中央頭首工	136,504	
葛丸頭首工	368,987	幹線用水路(4路線) 11.7km
幹線用水路	2,346,807	
用水管理施設	182,827	用水管理施設 一式
雑工事	35,736	
用地及び補償費	7,088,543	
工事雑費その他	6,486,622	
計	29,286,542	

葛丸ダム諸元	
形 式	中心遮水ゾーン型 ロックフィルダム
堤 高	51.7m
堤 長	220m
堤体積	671,000m ³
総貯水量	5,000,000m ³
有効貯水量	4,650,000m ³
集水面積	22.49km ²



7. 国営土地改良事業 山王海(二期)農業水利事業 《H2~H13》

種 別	事業費(千円)	主要工事
山王海ダム	36,339,017	山王海ダム
取水トンネル	3,070,073	取水トンネル2.3km
工事用道路	900,872	
用水管理施設	438,642	用水管理施設 一式
雑工事	378,291	
用地及び補償費	4,410,643	
工事雑費その他	6,859,786	
計	52,397,324	

昭和27年に完成した旧山王海ダムの堤体の一部を取り込んで、その上に新たなダムを盛り立てる、世界にも他に例のない嵩上げ工法が特徴である。

新しいダムにも水争いで苦しんだ古人の労を顧み、この地区が21世紀という新しい時代に発展することを願い「平安・山王海・2001」の文字が引き継がれた。

山王海ダム諸元	
形 式	中心遮水ゾーン型ロックフィルダム
堤 高	61.5m
堤 長	241.6m
堤体積	1,290,000m ³
総貯水量	38,400,000m ³
有効貯水量	37,600,000m ³
集水面積	37.74km ²

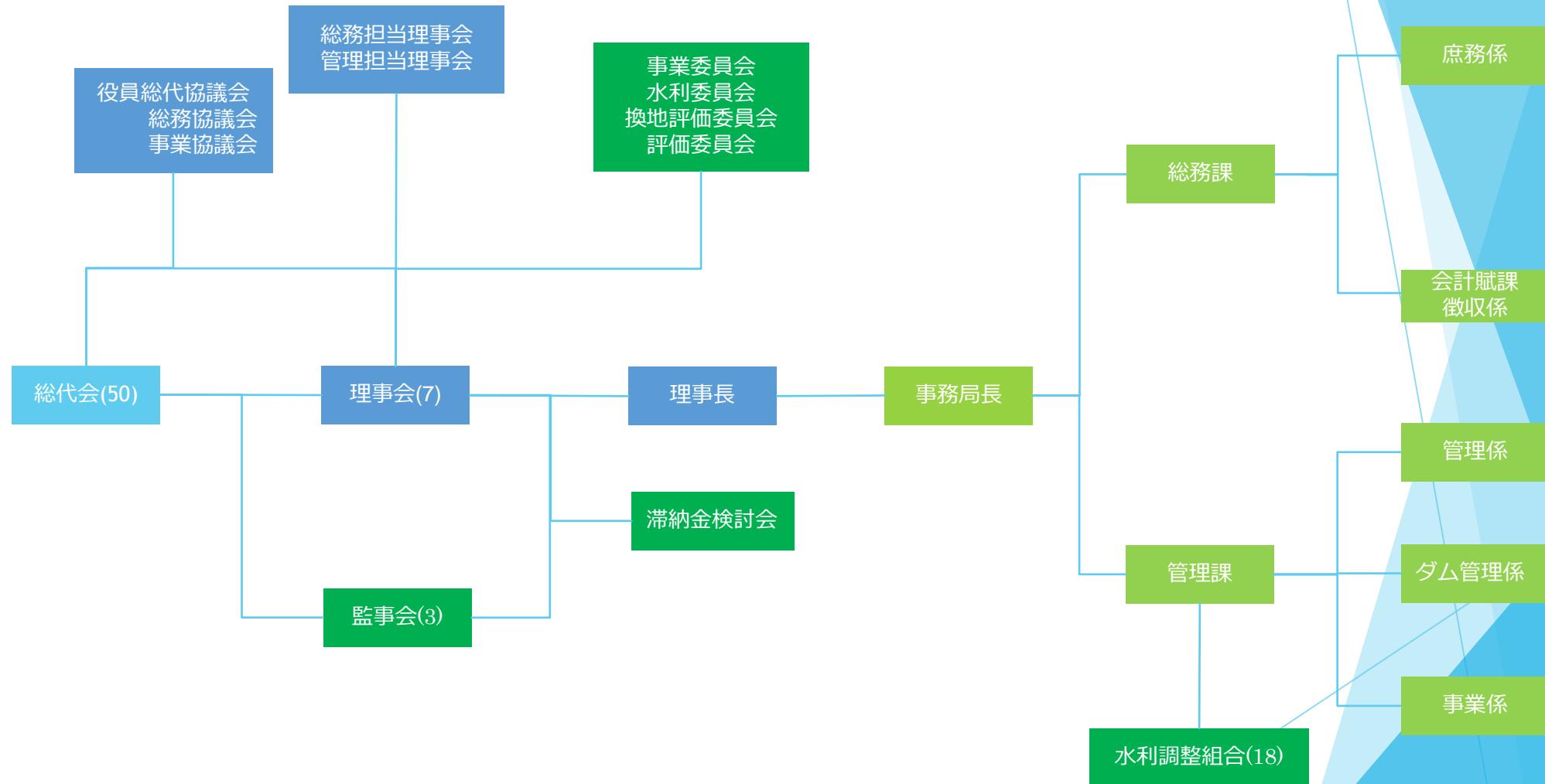


7. 国営土地改良事業 管内水利施設 用水路

名 称	支配面積 (ha)	通水量 m^3/s	総延長 (m)	開 渠 (m)	その他 (m)	構 造	勾 配
導水トンネル		4.557	2,200.0		2,200.0	隧道	1/560～570
取水トンネル		3.757	2,300.0		2,300.0	隧道	1/750
稻荷導水路	1,680	5.816	74.9		74.9	コンクリート水路	1/500
北幹線用水路	330	0.995	2,902.3	2,887.3	15.0	コンクリート三面水路	1/21～1,700
稻荷幹線用水路	680	2.331	3,972.1		3,972.1	管水路	
南幹線用水路（上流）	670	2.490	7,571.7	6,962.7	609.0	コンクリート三面張	1/1,000～2,000
南幹線用水路（下流）	650	2.052	3,575.7	980.0	2,595.7	管水路、コンクリート三面張	1/1,000～2,000
中央幹線用水路	550	1.763	3,141.7	2,654.3	487.4	コンクリート三面水路	1/700
葛丸幹線用水路	1,380	4.481	3,330.2	646.2	2,684.0	管水路、コンクリート三面張	1/800～1,500
石仏用水路	280	0.911	2,525.0	2,247.7	277.3	コンクリート三面水路	1/340～1,000

8. 山王海土地改良区について

19



8. 山王海土地改良区について 賦課金、決済金について

賦課金

項目	金額 (10a/円)	備考
経常賦課金	5,300	平成29年度～
特別賦課金	3,200～4,500	2地区
維持管理費	330	1地区

決済金

項目	金額 (10a/円)
維持管理事業決済金	184,900
県営事業分担金決済金	100
国県営造成施設等維持管理費決済金	4,700
計	189,700

8. 山王海土地改良区について事業関係 県営ほ場整備事業

事業名	地区名	実施期間	事業量	事業費(千円)
農村基盤総合整備パイロット事業	山王海	S50～H4	762.0ha	9,637,000
ほ場整備事業	南野原	S51～S58	274.0ha	2,843,000
	水分	S55～H4	318.0ha	3,546,000
	赤石第一	S57～H6	229.0ha	3,201,000
	水分第二	S58～H4	72.0ha	812,000
	紫波中央	S60～H5	126.6ha	1,372,924
	赤石第二	S61～H7	221.0ha	3,500,297
	上平沢	H1～H7	142.4ha	1,533,000
低コスト+21世紀型	土館	H2～H8	163.0ha	2,149,010
担い手育成基盤整備	宮手稻藤	H5～H12	243.0ha	3,957,000
	上台大下通	H8～H13	44.3ha	933,000

8. 山王海土地改良区について事業関係 県営、団体営事業

事業名	地区名	実施期間	事業量	事業費(千円)
経営体育成基盤整備事業	八幡東部	H9～H16	116.2ha	1,941,058
	南日詰	H12～H23	88.1ha	1,853,000
土地改良総合整備事業	黒西	H7～H15	78.2ha	1,156,992
	南寺林	H8～H15	72.2ha	971,000
	中寺林	H12～H22	104.2ha	930,495
ため池等整備事業	山王海	S60～S63	2,334m	159,848
	山王海第二	S63～H4	2,252m	160,770
	大興寺	H1～H8	1,958m	404,246
	石仏	H4～H12	2,528m	361,427
かんがい排水事業	大興寺	H3～H5	1,411.3m	155,000
	大瀬川	H4～H9	2,550m	345,000
農村地域防災減災事業	南幹線上流	H27～H31	305m	205,010
団体営基盤整備事業	岩清水	H13～H17	13.8ha	161,640

8. 山王海土地改良区について 管理体制

山王海土地改良区
受益面積3,790ha、組合員2,187名（令和6年4月1日時点）

理事会（7名） 理事長 事務局長

水利委員会（R5実績：1回（2月））

事業委員会（R5実績：1回（2月））

水利調整組合（18）

組合員

管理課

管理係（1）

ダム管理係（2）

事業係（3）

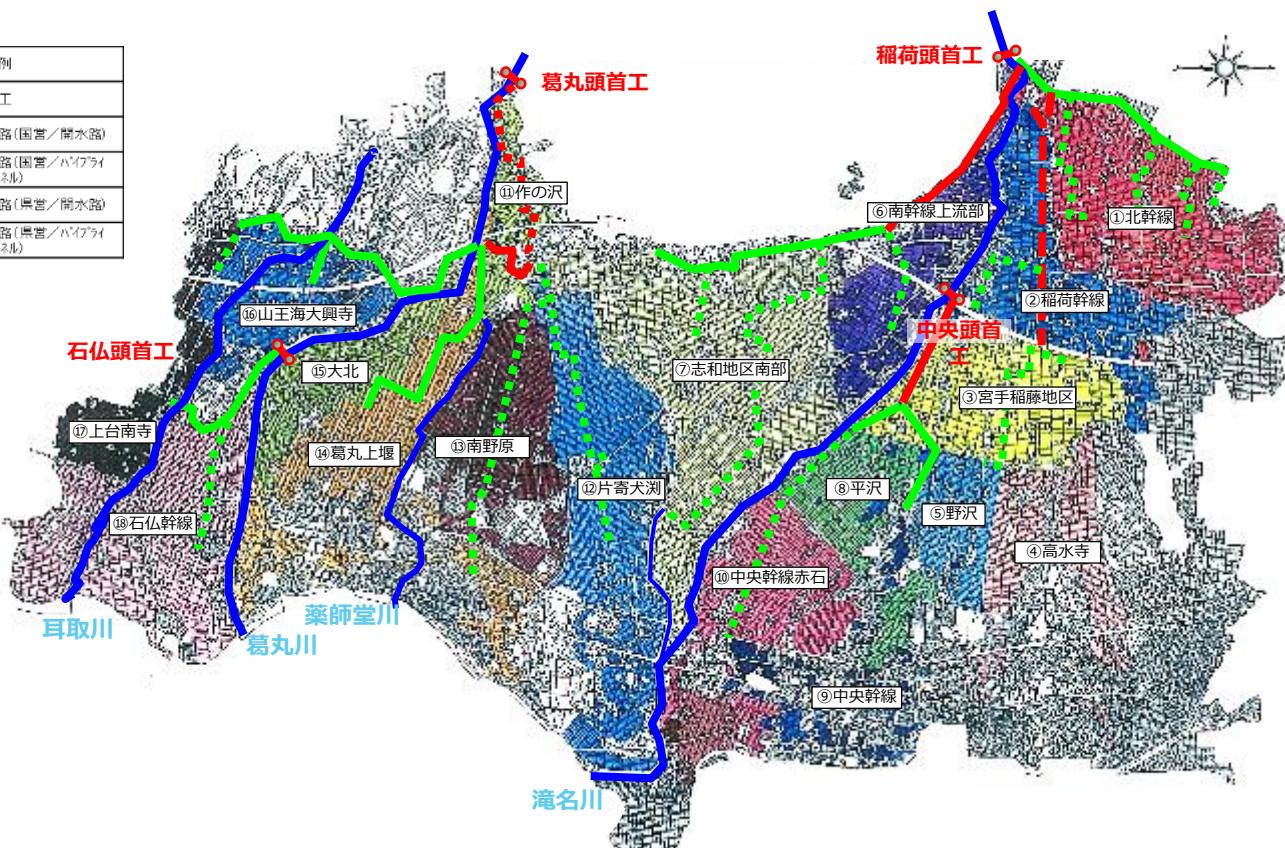
庶務係（2）

総務課

会計賦課徴収係（3）

水門・水路監視人（7区・7名）

凡 例	
○	頭首工
—	用水路（国営／開水路）
···	用水路（国営／ハイブライントンネル）
—	用水路（県営／開水路）
···	用水路（県営／ハイブライントンネル）



一種施設〈改良区が管理〉：頭首工、幹線水路、用水管理センター、主要な排水路等（国営、県営の造成施設）

二種施設〈水利調整組合が管理〉：一種以外の施設（県ば造成施設等）

水利調整組合（18）

- 幹線水路からの水系で区分された18の組合（改良区承認）
- 通常の維持管理（水路の泥上げ、草刈り等）、かんがい期における配水調整、維持管理事業に係る調査・申請等を行う。

水門・水路監視人7区・7名

- 適正な配水管理と水利状況報告等のため、4/20～8/25の間に雇用される監視人。7区分された区域毎に1名配置。
- 水利調整組合から推薦を受けた者を改良区が雇用。任期は1年。
- 各幹線水路の主要箇所に量水標を設けて所要水量が確保されるよう監視し、常時、改良区へ報告。

9. 事業の取り組み

～国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)～

『親子ふれあい研修』

平成15年度から管内の小学生親子を対象にして施設研修、ダム湖への稚魚放流、植樹を実施し、土地改良区の役割、土地改良施設の多面的機能をPRしている。



9. 事業の取り組み

『紫波町産業まつり』

紫波町で実施されている産業まつりに参加し、管内航空写真等のパネル展示、ビデオ上映、クイズ等を企画しPRをしている。



クイズコーナーでは超豪華！山王海グッズを獲得するため、多くの方が資料をじっくり見て挑戦していただきました。水槽展示のコーナーでは普段は目にすること出来ない珍しい魚などの生き物に子供たちは目をキラキラ輝かせていました。
まだ出展の目玉になりつつあるバルーンアートでの台場遊歩を楽しみに毎年来場してくださる方もおり、感激のお言葉もいただき、とても喜ばしい限りでした。
今回は臨時職員監査室の資料展示もあり、昨年よりもワーカップした内容で来場者の皆様に改良区や農村監査事業についてPRすることができました。



9. 事業の取り組み

～アドプト活動～

『御堂堰、馬場堰用水路』

協定締結の概要	
活動団体名	御堂堰、馬場堰清掃者(志和町、志和町第一町内会)
活動内容	清掃、草刈、管理、巡回
締結年月日	平成16年10月15日
対象施設	御堂堰L=690m 馬場堰L=1,170m
所在地	岩手県紫波郡紫波町上平沢および稻藤地内
構成人数	農家53人、非農家97人 合計150人

「御堂堰・馬場堰」の清掃・緑化作業等の管理は、地域奉仕活動として下記の実施団体様が実施しています。（アドプト協定により）



【アドプト制度とは】
1985年にアメリカカナダ両国が州交連用で誕生しました。公共施設等の管理にあたって、地域住民の参加を得て、清掃や美化等を「地域住民と行政等の協働」で進める活動です。
これは、ボランティア活動とひとえ違う方法で、地域住民と行政等の間で協力を結ぶことにより、それでの役割を明確にして活動です。

【アドプト協定の仕組み】

```

    graph TD
        A[実施団体（登録）  
御堂堰・馬場堰清掃者] --> B[協定書の  
取り交わし  
山王海土地改良区  
管轄地地方田園地保全  
再生活動協議会]
        B --> C[表示板を  
活動場所に設置]
        C --> D[実施団体が被験した  
区域清掃・緑化作業の実施]
        D --> E[公共団体（被験）  
御堂堰・馬場堰]
    
```

【実施団体】

志和町内会（志和第2区） 志和第一町内会（志和第3区）



